

## 「愛知県統一がん地域連携パス」導入のためのアプローチの一例

- 1、自施設における「地域連携パス推進の責任者」が関係部署の責任者に、「愛知県統一がん地域連携パス」の早急な使用開始を明確に指示する。
- 2、「地域連携パス推進の責任者」は、「地域連携パス導入促進チーム」を立ち上げる。
  - 1) 各施設には、最低2〜3名から最大5名の各パス施設代表者がいる。この人たちをメンバーとする。
  - 2) パス支援コーディネーターと支援看護師、支援事務員、医事担当者もメンバーとする。
  - 3) これらのメンバーで、自施設の状況に適合した推進策を検討する。
- 3、「地域連携パス導入促進チーム」はパスの当事者となる可能性の高い院内外の医師等へ周知を図る。
  - 1) 院内関係者（特に連携元となる医師）への説明会を実施する。
  - 2) 院外向けの説明会を実施する。（連携できそうな連携医に対する個別説明が望ましい。）
- 4、導入初期は、まず各パスの施設代表医師が運用する。
  - 1) 適切な症例を選ぶ。
    - 1 紹介医がかかりつけ医である（Uターン）。
    - 2 院内の他科に通院していない。
    - 3 病院のすぐ近くにに住んでいない。
    - 4 あまりに高齢でなく重篤な疾患がなさそう（連携医の負担を考慮）。
    - 5 最初はステージの軽いものから。
  - 2) 各分野施設代表医師が自らの患者に積極的に地域連携パスへリクルートする。
  - 3) コーディネーターが、導入しようとする医師を徹底的に支援する。
  - 4) 個別症例について、主治医とコーディネーターが共同して、かかりつけ医に協力を要請する。  
必要に応じて、連携先施設へ出向いて直接説明する。
- 5、地域連携パス推進の意義を確認し、メリットを伸ばしデメリットを最小化する。
  - 1) 患者にとっての意義  
身近な専門的相談相手の獲得による不安軽減。通院の負担軽減。  
生活習慣病の診療。将来の在宅医療への足掛かりになる可能性。
  - 2) 家族にとっての意義  
Family medicine の観点から家庭全体を配慮した支援が受けられる。
  - 3) 連携医にとっての意義  
かかりつけ医機能、Family doctor 機能の推進。将来の在宅医療への移行を促進。
  - 4) 病院医にとっての意義  
外来の混雑緩和。  
将来の在宅医療への移行をスムーズにする。

## 「愛知県統一がん地域連携パス」の円滑な導入のためのチェックリスト

### 1、推進体制の確立

1) 地域連携パス普及推進の総括責任者を決定しているか？ (Yes, No)  
責任者氏名（部署） \_\_\_\_\_ ( )

2) 地域連携パス普及推進の総括責任者は、施設内に明示されているか？ (Yes, No)

3) 5つのパスの代表者（がん種ごとの連携パスWGのメンバー）は明確か？ (Yes, No)

①胃がんWGメンバー \_\_\_\_\_ 医師 ②大腸がんWGメンバー \_\_\_\_\_ 医師  
③肝がんWGメンバー \_\_\_\_\_ 医師 ④乳がんWGメンバー \_\_\_\_\_ 医師  
⑤肺がんWGメンバー \_\_\_\_\_ 医師

4) パス支援コーディネーターや看護師、事務員等が明確？ (Yes, No)

①施設内コーディネーター \_\_\_\_\_ ②パス支援看護師 \_\_\_\_\_  
③パス支援事務員 \_\_\_\_\_ ④その他の支援者 \_\_\_\_\_

5) これらのメンバーで、普及推進チームを結成しているか？ (Yes, No)

6) そのチームは、施設としての具体的な推進策を策定しているか？ (Yes, No)

7) 院内で連携パスの運用に関わる人たちへの説明会を実施したか？ (Yes, No)

8) 院外の医師（連携医）向けの説明会を実施したか？ (Yes, No)

### 2、適切な症例の選択

9) 患者の主治医が各パスの代表医師である。 (Yes, No)

10) 患者の紹介医は掛かりつけ医である。(Uターン) (Yes, No)

11) その紹介医は、連携パスの導入に協力してくれそうな医師である。 (Yes, No)

12) 院内の他科に通院していない。 (Yes, No)

13) 病院のすぐ近くに住んでいない。 (Yes, No)

14) あまりに高齢でなく重篤な疾患がなさそう（連携医の負担を考慮）。 (Yes, No)

15) 最初はステージの軽いものから。 (Yes, No)

### 3、担当者の積極的な姿勢

16) 担当者ががんの地域連携パス推進の意義を理解しているか？ (Yes, No)

17) 各分野の代表医師が積極的に地域連携パスへリクルートしているか？ (Yes, No)

18) コーディネーターが患者説明やリクルートを積極的に支援しているか？  
(治験コーディネーターの役割に相当する。) (Yes, No)

19) 主治医やコーディネーターが、強力に掛かりつけ医へ協力を要請しているか？ (Yes, No)

20) 主治医やコーディネーターは、連携先へ積極的に向いて説明しているか？ (Yes, No)